

What's on, Kyodokodo

2012.3.23
No.54



CONTENTS

- 共同行動からのお知らせ
- 医療安全ワークショップのお知らせ
- 支援ツールをアップしました
- 行動目標6「Rapid Response System 概要」
- 参加団体の活動紹介
- 医療の質・安全学会「第6回「新しい医療のかたち」推薦募集」
- フォーラム・セミナー等のご案内
- ひとことアドバイス
- RRS構築に備えて(目標6)
- フォーラム・セミナー等のご報告
- 平成23年度医療安全管理シンポジウム(静岡県中部地区)が開催されました

- 成功事例・参考事例を募集しています
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→ advice@ppscamp.net
- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします
→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>
お問い合わせは toHSMR@ppscamp.net
- 参加登録病院用のバナーができました！
→ [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A→ <http://kyodokodo.jp/faq.html>
参加登録事項変更等に関するQ&A
→ [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)
- キャンペーンポスターをご利用ください
完成版→ http://kyodokodo.jp/shiryuu_koho.html
基本デザイン→ [パートナーズ専用ページ/メニュー](#)

共同行動からのお知らせ

医療安全ワークショップ“いのちをまもるパートナーズ”のお知らせ

4月28日(土)、29日(日)に京都で開催される医療安全ワークショップのプログラムと参加登録フォームを共同行動ホームページにアップいたしました。

* [公開ページ/トップ](#) よりご覧になれます。 [詳細案内](#) [参加申込](#)

実技講習会や目標別分科会は定員制となっておりますので、どうぞお早めにお申し込みください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時：2012年4月28日(土)、29日(日)

会場：京都テルサ府民総合交流センター <http://www.kyoto-tersa.or.jp/conference.html>

参加費：1万円 ※実技講習会(プレワークショップ)を併せて受講される方は1万3000円

(実技講習会のみ参加はお申し込みいただけません)

申込方法：参加登録フォームからお申し込みください

ープログラムー

【プレ・ワークショップ-実技講習会】 4月28日(土) 13:00~17:00

* 定員あり・先着申込み順(申込時に下記から選んでください)

- ・事例分析実習(講師：河野龍太郎氏)
- ・診療所の基本安全手技と輸液ポンプの安全操作(実習編)
- ・人工呼吸器下のケア(実習編)

【ワークショップ】 4月28日(土) 18:00~19:30、29日(日)9:00~17:00

28日(土)

(1) 18:00~18:20 開会挨拶&オリエンテーション

(2) 18:30~19:30 教育セミナー

A. 診療所の安全対策(医科診療所と歯科診療所)

- B. 改善のためのチームプロジェクトの実際
- C. 肺塞栓予防のための抗凝固療法の安全管理

29日(日)

(3)9:00~10:40 全体セッション「安全目標を実現するために」

改善チームによる課題別プロジェクトの進め方と指標の活用

(4)11:00~13:00 目標別分科会A

* 定員あり・先着申込み順(申込時に下記から選んでください)

目標1 危険薬の誤投与防止／目標2 周術期肺塞栓症の予防／目標4 医療関連感染症の防止／

目標5 医療機器の安全な操作と管理／目標7 事例要因分析から改善へ

(5) 交流会(昼食時)

(6)14:00~17:00 目標別分科会B

* 定員あり・先着申込み順(申込時に下記から選んでください)

目標S 安全な手術-WHO指針の実践／目標3a 経鼻栄養チューブの安全な実施／目標3b 中心

静脈カテーテルの安全な実施／目標6 急変時の迅速対応／目標8 患者・市民の医療参加

■お問い合わせは医療安全全国共同行動事務局へ (代表メールアドレスが変わりました)

E-mail: secretariatpartners@kyodokodo.jp

[お知らせ]

4月から共同行動事務局の住所が変わります。メールアドレスは同じです。

電話とファックス番号は後日ご案内いたします。連絡はなるべくメールでお願いいたします。

医療安全全国共同行動 事務局 secretariatpartners@kyodokodo.jp

(〒420-0949) 静岡市葵区与一4-1-1 静岡県立こころの医療センター内

支援ツールをアップしました

行動目標6 「Rapid Response System 概要」をアップしました

* [公開ページ／メニュー「9つの行動目標と推奨する対策」](#) → 「支援ツール一覧／行動目標6／TOOL BOX」 → 閲覧登録してお入りください(無料でどなたでも簡単に登録できます)

[閲覧登録はこちら](#)

参加団体の活動

医療の質・安全学会の活動

第6回“新しい医療のかたち” 推薦にご応募ください

医療の質・安全学会では、患者本位の医療をめざし、患者・市民の医療参画を支える地域社会の活動と医療機関の取り組みをご紹介いただき、HPでお知らせするとともに、また、“新しい医療のかたち”を指し示す注目すべき活動を顕彰させていただくことで、患者-医療者-市民のパートナーシップを育て地域社会に開かれた医療の普及と発展に寄与したいと考えています。今年も第6回の「新しい医療のかたち」賞の推薦を募集します(2012年6月15日まで)。

医療安全全国共同行動にご参加の医療機関やその周囲にも、ぜひ広く紹介したい活動や取り組みがあるのではないのでしょうか。共同行動の各目標に関連する活動に限らず、医療者・医療機関による活動をはじめ患者グループ、地域社会の活動など、本募集の趣旨に合った活動をぜひご推薦ください(自薦・他薦いずれでも結構です)。応募方法は <http://qshpsp.ec-net.jp/> に掲載しています。

第6回「新しい医療のかたち」賞は、本年の医療の質・安全学会の学術集会(11月23~24、大宮ソニックシティ)で表彰いたします。

なお、第1～5回の「新しい医療のかたち」賞の受賞活動のご紹介や、全国各地の団体の活動紹介データベースも、同じく <http://qshpsp.ec-net.jp/> からご覧いただけます。今後、貴院の皆様が、医療安全のために患者や地域とともに進められる取り組みの参考として活用いただければ幸いです。

医療の質・安全学会パートナーシッププログラム 山内桂子(目標8支援チーム)

フォーラム・セミナー等のご案内

9目標に関連するフォーラム、セミナー、シンポジウム、講習会

弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

〈金沢地区〉

日時：2012年3月24日(土) 13:00～17:00

会場：金沢医科大学病院 新館12階 大会議室

〈大阪地区〉

日時：2012年4月21日(土) 12:45～17:00

会場：薬業年金会館 会議室301号、401、402号

主催：日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

* 詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html> をご覧ください。

第1回Rapid Response System(RRS)ワークショップ(目標6に関連)

日時：2012年3月25日(日) 13:00～17:00

会場：神戸大学医学部附属病院 神緑会館 多目的ホール

主催：医療安全全国共同行動

共催：日本臨床救急医学会 院内救急対応システム検討委員会

後援：日本救急医学会・神戸大学病院

* 詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/120325.pdf> をご覧ください。

NEW! 東三河整形外科医会(第22回教育研修講演会) (目標2に関連)

日時：2012年4月14日(日) 16:30～19:00

会場：ウエステージ豊橋(愛知県)

演題：「下肢整形外科手術のVTE予防

ーリハビリテーション・間歇的空気圧迫法・抗凝固療法ー」他

* 日本整形外科学会教育研修会認定

* 詳細は http://www.joa.or.jp/jp/training/20120414_15.html をご覧ください。

第23回CVC指導者養成コース(目標3bに関連)

日時：2012年4月21日(土) 11:30～17:00

会場：兵庫医科大学病院中央手術部

主催：日本医学シミュレーション学会

* 詳細は <http://www.jsdam.com/pdf/190.pdf> をご覧ください。

医療安全ワークショップ(すべての目標に関連)

日時：2012年4月28日(土)、29日(日)

会場：京都テルサ府民総合交流センター <http://www.kyoto-tersa.or.jp/conference.html>

主催：医療安全全国共同行動

* 詳細は [公開ページ/トップ](#) の「医療安全ワークショップ」バナーからご覧ください。

【日本医学シミュレーション学会主催のその他のセミナー】

第8回セデーショントレーニングコース

日時：2012年5月26日(土) 13:00～17:00

会場：兵庫医科大学病院中央手術部

* 詳細は http://www.jsdam.com/index_in.php をご覧ください。

ひとことアドバイス

急変時の迅速対応(目標6)

RRS構築に備えて – 重症例と急変事例の全例報告と多施設共同登録について –

地方独立行政法人 静岡県立病院機構
静岡県立総合病院 院長代理 **野々木 宏**

院内での急変とくに心停止は、時間が遅れると救命が困難になることがまれではありません。院内重症チーム(EMT、RRT、迅速対応チーム)をつくり病院全体への取り組み(RRS:Rapid Response System)が共同行動でも提案されています。その必要性やどのような症例に事前に注意をすればよいか、現状の把握がなされていません。そのようなシステムの有効性を検証し、対策を立てるためには病院全体での重症例や心肺蘇生を必要とした事例の全症例を把握することが重要です。

私たちは、院内の医療安全対策室と共同で全例把握するシステムを構築しました。また、この登録フォーマットは、国際的な院内ウツタイン登録に準じており、現在米国で実施されているNRCPR(米国病院内心肺蘇生登録)とも対比が可能なものです。*

これまでに全国11施設において2年間の登録(JRCPR)を行い、院内心停止例の実態と対策を内外へ発信しその成果を米国心臓病学会(AHA)で報告しました(Yokoyama et al. Circ J 2011;75:815)。

院内での実態調査で判明した事例の紹介と実践した対策(国立循環器病研究センター)をお示しします。

心停止が病棟や外来ではなく、医療スタッフがいない食堂や地下で生じて、非医療従事者のみしかいなく、医療器材もない状況が判明しました。また、最初の発見者が心肺蘇生法(CPR)の講習を受けていると転帰が良好であることが判明しました。そこで、医師、看護師のみではなく、病院の全従業員(食堂や清掃員、事務職を含む)1000名近くにAEDと基本的CPRのトレーニングを実施しました。また、全フロアにAEDを設置して、医療器材がない食堂階には、AED-Box内にバッグバルブマスクの設置も行い、集中治療室への直通電話を設置し、救急カート到着までの処置が可能となるようにしました。

さらに、重症例は全て多職種のチームで報告を受け、DNARなどの倫理面も含めたラウンドを実施し現場への支援を行っています。

この登録検証システムを医療安全に取り組むすべての施設へ提案致します。さらにこの登録データを多くの施設で共有し、対策につながり米国と共同で対策立案につながることを期待しています。

※ [「院内心肺蘇生報告書」登録フォーマット](#)

(付記:「病院の活動紹介」掲載原稿(2010.11.19)を一部改訂して再掲)

* ひとことアドバイスは、[公開ページ/メニュー「相談室」](#) → 「ひとことアドバイス」からご覧ください。

フォーラム・セミナー等のご報告

平成23年度医療安全管理シンポジウム(静岡県中部地区)が開催されました

テーマ: 行動目標S「安全な手術—WHO指針の実践」に向けて 「手術安全チェックリスト」の取り組み報告で課題が明確に

静岡県病院協会医療事故防止部会部会員
JA静岡厚生連静岡厚生病院院長 玉内 登志雄

平成24年1月20日(金)、静岡県病院協会医療事故防止部会が毎年主催している医療安全シンポジウム(中部開催)が静岡県男女共同参画センターで開催された。県内33施設・団体等から医療関係者計13名の参加があった。

「WHO安全な手術のためのガイドライン2009」の日本語訳をした新潟県立六日町病院麻酔科部長市川高夫氏から「WHOの患者安全への挑戦」と題した基調講演があった。安全な手術のための10の必須目標は手術安全チェックリストとして編集され、手術安全チェックリストの実施が病院、施設等における有害事象の減少に関連していることは明らかである。また手術安全チェックリストの実施は手術チームのコミュニケーションを円滑に図るツールとなり、安全文化の推進に繋がる。WHO指針の実行にあたり管理者を含め各科のトップの理解が必須であることを強調した。



市川高夫氏



続いて今回のテーマである「安全な手術—WHO指針の実践」に対し4病院から取り組み報告があった。JA静岡厚生連静岡厚生病院、清野喜久子先生から「WHO手術安全チェックリストからみる当院手術室の現状と課題」と題し、現状方法でエラーがないことや知っているもの同士の自己紹介など、「手術安全チェックリスト」の重要性は認識していても徹底できない点を課題とした。講師から、

自己紹介は円滑なコミュニケーションのためには欠かせないものであること、「手術安全チェックリスト」は実施記録として保管する必要性の助言があった。

焼津市立総合病院八木洋子先生は平成19年2月患者誤認・手術部位誤認防止対策としてタイムアウトを導入、平成23年4月「手術安全チェックリスト」を参考にしたチェックリストを作成し安全対策の実施に至る経緯を報告。今後チェックリストの見直しや主導者育成、情報の共有方法など検討する。

市立島田市民病院播岡徳也先生は「手術安全チェックリスト」の作成に至るまでの経緯、「手術安全チェックリスト」の使用が契機となり術前チェックリストの作成やハイリスク症例検討委員会の設置など、関係職員の安全な手術に対する意識改革に繋がったとの報告があった。

静岡県立総合病院海野千歩子先生は平成22年3月にチェックリストを導入、翌月実施状況を把握する目的で手術室看護師を対象とした調査を開始した。未実施項目および要因を明らかにし、今後実施率向上に向け新たな取り組みを行う。チェック表の導入は医療者間の情報共有ツールとなり、インシデントの減少に繋がったと結んだ。

(文責 JA静岡厚生連静岡厚生病院 小幡久子)

* これまでに開催されたフォーラムやセミナーの報告は、
[公開ページ/メニュー「フォーラム/セミナーの報告」](#)からご覧になれます。

フォーラム・セミナー等のスケジュール

2012年 3月24日(土)	弾性ストッキング・コンダクター講習会(金沢地区)
3月25日(日)	第1回Rapid Response System(RRS)ワークショップ
4月14日(土)	東三河整形外科医会(第22回教育研修講演会)
4月21日(土)	弾性ストッキング・コンダクター講習会(大阪地区)
4月21日(土)	第23回CVC指導者養成コース
4月28日(土)、29日(日)	医療安全ワークショップ
5月26日(土)	第8回セデーショントレーニングコース

★ウェブマガジンは毎月1回、配信いたします。院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”
 ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室
 E-mail: secretariatpartners@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>